

議事要旨

会 議 名	第3回 大村市都市計画マスタープラン等策定検討委員会	作 成 課	都市計画課
日 時 等	令和3年 3月 19日 (金) 14:00～16:00 大村市役所大会議室		
出 席 者	大村市都市計画マスタープラン等策定検討委員会 委員 (20人中18人出席) 都市整備部都市計画課		
会 次 第	<ul style="list-style-type: none"> ● 議題 <ul style="list-style-type: none"> (1) 将来都市像について (2) 都市づくりの目標について (3) 将来都市構造について ● その他 <ul style="list-style-type: none"> スケジュールについて 		
主な内容等	<p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍により大都市への機能や人口の一極集中が是正され、都市的なものと自然のバランスが求められるような流れのなかで、地域の中心都市が重要な役割を果たしていくようになる可能性がある。 ・ 大村湾や多良岳などに代表される豊かな自然環境を活かしていくことは大前提となるが、昨年7月の豪雨災害の発生などを踏まえると、単に自然を守るだけではなく、安全・安心なまちづくりという視点も重要になる。 ・ 大村市はこれまであまり大きな災害がなかったこともあって防災意識が必ずしも高くないが、昨年の豪雨では被害も少なからず発生しており、防災意識を高めていく必要がある。 ・ 住宅地の土地の利用誘導なども織り込みながら、安全も確保できる住みやすいまちづくりを進めていく必要がある。 ・ 多くの人々が長崎や諫早に通勤・通学で流出しており、このままの流れであればベッドタウン化が進んで行く懸念がある。自立という観点では「学ぶ」という機能を充実させていくことで、県内の中間レベルの都市として永続的に自立できるのではないかと。 ・ 新幹線開業により人の動きが広域化すると考えられるが、市内から市外への通勤・通学だけではなく、市外から市内に通勤・通学するようなまちづくりも必要である。 ・ 高校や大学を卒業した人が地元に残ってもらえるように、引き続き企業誘致などを進めていく必要がある。 ・ 将来の社会を見据えると、起業マインドがある人に選ばれるまちになることが重要であり、高速交通体系はもちろんのこと、情報網の整備なども非常に重要になるのではないかと。 ・ 長崎県全体を見ればIR構想などもあり海外とのつながりを考える必要がある。大村市には空港があるため海外とのつながりも重要になり、来た人に満足してもらえる都市構造、滞在型の都市構造など、「つながる」という概念をもう少し広い視野でとらえる必要がある。 ・ 住むことを考える場合には子育てや教育などのキャッチフレーズも重要になることから、教育施設の誘致などを進めていくことで、子ども達が住み続けたいと思ってもらえるようにしていく必要がある。 ・ 子育てや住みやすさなどの観点からは文化ホールのような施設の充実も必要になる。 ・ 住宅の立地に偏りが見られ、学校の規模の差異も大きくなっていることから、子育てや住みやすさの観点では、校区の見直しなども考える必要がある。 ・ 「交流や多様なライフスタイル」は高速交通体系だけで実現できるものではなく、歴史・文化 		

や豊かな自然、多様な拠点があることなども要素として含まれるのではないか。

- ・ 大村市に来る人に対してどのようなものを提供できるのか、大村市にしかない価値をどのように理解してもらうか、PR のやり方なども考える必要がある。
- ・ 「多様なライフスタイル」という点では、移住・定住だけではなく、複数の拠点で一定期間暮らすような新しい価値観にも対応する必要がある。
- ・ 都市計画マスタープランと立地適正化計画で異なる将来人口を設定しているが、現実的な推計を実施して数値の統一を図ることが望ましい。
- ・ 大村市の特徴は多様であるということであり、多様な人や価値観が交わることで新しいことを生み出していく、そういった部分を受け止めることができるまちであることが重要である。